

令和 5 年 12 月 19 日 区長記者会見

【司会】

それでは定刻となりましたので、只今から令和 5 年 12 月 19 日、北区長記者会見を開始いたします。本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

私は広報課長の窪田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は区長のほか、政策経営部長の藤野と、企画課長の倉林、しごと連携担当課長の入江が出席をしております。それでは早速ですが、やまだ区長お願いいたします。

【やまだ区長】

皆様、こんにちは。年末のお忙しい中、今日はお集まりいただきましてありがとうございます。12 月の定例記者会見を始めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

一枚目のスライドですが、今月はですね。区内を彩る商店街のイルミネーションの写真であります。今年はですね。赤羽駅、北赤羽駅、板橋駅で商店街の方々が中心となりまして、駅前のイルミネーションを実施しております。

ぜひ、各駅、個性豊かなイルミネーションになっておりますので、皆さん、ご覧いただけたらありがたいと思います。

そして併せて年末年始は各商店街で福引や売り出しなども開催されております。コロナがあけて元の売り出しが始まっておりますし、年末年始のイベントもこれまで通り再開がされる予定だと伺っております。ぜひとも、街中の商店街やイベントにご参加いただけたらなと思います。よろしくお願いいたします。

本日は大きく三点についてご説明をさせていただきます。

まず一点目です。カウントダウンプロジェクト 渋沢栄一の肖像画となります、新一万円札の発行が、いよいよ 7 月 3 日発行ということで発表がございました。

これを受けまして、北区のカウントダウンプロジェクトも本格稼働をさせていただきたいと思っております。まず、一点目は「渋沢栄一」・「新一万円札」・「北区」をテーマといたしまして、超人気 YOUTUBE チャンネルの ReHacQ(リハック)、これは 1 月 27 日に公開収録&トークイベントを開催させていただきます。

当日の豪華ゲストは北区出身のひろゆきさん、そして成田修造さん、そしてビビる大木さんの 3 名の方がゲストでおいでいただきます。世界の渋沢栄一 & 紙幣刷新について、皆さんでトークを交わしていただくことになっております。

第 1 部がひろゆきさん、成田さん、ビビる大木さん。そうですね、高橋プロデューサーでした、ひろゆきさん、成田さん、高橋プロデューサーによるトークショー。

そして、第 2 部がビビる木さんと、それから渋沢史料館の井上顧問の対談という形で、2 部構成で開催をさせていただきます。

公開収録は、北区北とぴあのさくらホールで開催をいたします。この観覧応募をインターネットとはがきとで募集しておりますので、ぜひ多くの方々にお越しいただけたらなというふうに思っています。よろしくお願いいたします。

二点目がカウントダウンプロジェクト 2 つ目です。

いよいよ 7 月 3 日と日にちが決まりましたので、この発表に合わせて区内の各駅と場所です、カウントダウンボードを設置することとなりました。

王子駅、赤羽駅、田端駅、そして北区役所、お札と切手の博物館、国立印刷局、北とぴあ、各箇所でのカウントダウンボードを設置してまいります。

12 月 28 日 11 時には、北区役所に設置するカウントダウンボードのお披露目式を行いたいと思います。ぜひとも皆さん、お越しいただけたらなと思います。よろしく願いいたします。

三つ目はですね。新紙幣発行に向けた機運醸成の願いを鐘で打つということで、これ、ここで初めての発表になります。PR 大使のしづさわくんが東京証券取引所 2024 年の大発会に登場し、鐘を鳴らします。

はい。1 月 4 日に行われる大発会にしづさわくんが登場いたしまして、1 年の始まりを告げる鐘を鳴らします。

東京証券取引所の前身である東京株式取引所は明治 11 年、渋沢栄一翁を中心に設立されました。2021 年には、大納会では大河ドラマ「青天を衝け」の主演を務められた吉沢亮さんが打鐘したことで報道されております。

今回、大発会の方には、しづさわくんがキャラクターとしてはですね、くまモンに次ぐ 2 人目です。私も一緒にお邪魔したいなと思っております。

ぜひとも近代日本経済を作り上げた渋沢翁のですね、この鐘をですね、しづさわくんと一緒に区内外、そして世界に発信していきたいなというふうに思っております。

渋沢翁が日本中、そして世界から注目を浴びる 1 年の始まりの鐘としたいと思っています。

そして四点目です。四点目は 11 月の記者会見でもご紹介をさせていただきました、カウントダウンプロジェクトを区民みんなで盛り上げていくということで、さまざまな企画を区民の方々に応募いただきまして、その中からいくつか、企画を応募いただいた中から選ばせていただき、みんなで取り組んでいくという企画であります。

ひらめきコース、そして事業提案コースと 2 つ、コースを作りまして、現在応募状況、ひらめきコースが 102 件のご応募をいただきました。

そして、事業提案が 8 件、このいただいた事業提案の中から、これもですね、選んでいくんですけども、区民の皆さんにホームページで見えていただきまして、この提案がいいというものを応募いただいて、事業を決定していきたいというふうに思っております。

ちなみに、ひらめきコースは、102 件のご応募の中から、約 7 件ほど採択予定しております。

また、事業提案は 8 件のうち 3 件を最終的に採択をいたしまして、二次審査を受けていただく事業をですね、区民の皆さまに選んでいただくということで考えております。

カウントダウンプロジェクトのホームページからお入りいただけますので、ぜひ、多くの区民のみなさまにご覧をいただきまして、みんなでその、企画事業提案を採択していけたらなというふうに思っております。

投票をぜひともお待ちしております。よろしくお願いいたします。

12月22日から1月19日までWEB投票をしていただきます。よろしくお願いいたします。

そして、次に、ここからは、物価高騰の影響を受けた区民の方々を支援していく取り組みについて、三点ですね、ご説明をさせていただきます。

先日、閉会をいたしました令和5年第4回区議会定例会で可決をされました補正予算、これは時限的に実施していく事業であります。

一つ目は、子どものインフルエンザワクチン接種費用の助成であります。

今年の4月1日から来年6年の1月31日までの間に接種をされた13歳未満のお子さんの2回のうち、1回分相当を助成していくという補助であります。支給開始は令和6年の1月以降ということでやらせていただきます。

北区のホームページの中からウェブで、ですね、申請をしていただきまして、領収書、または、すべてインターネット上で手続きが終えられるような仕組みとさせていただいております。

はい領収書ですとか、そういった添付も画面上で、できるようになっておりますので、お忙しい保護者の皆さんにも簡単に申請できるようになっております。

また、4月からさかのぼって申請いただけますので、接種を受けられたときの領収書ですとか、母子手帳の写しなどでできます。

また、領収書捨てちゃったよという方はですね、これはホームページ上からはちょっと難しいんですけども、お問い合わせをいただきまして、接種を受けられた病院を教えていただければ、内容を確認をして支給をしていくという仕組みとさせていただいております。

二点目は低所得者への給付です。

世帯全員の令和5年度の住民税均等割が非課税の世帯の方々を対象といたしまして、国の臨時交付金を活用し、1世帯7万円を給付してまいります。対象世帯へは昨日18日から申請書を順次送らせていただいております。

既に届いたよ、というお声もいただいておりますが、不備などがなければ、早い世帯では年内に給付を開始できると思っています。約4万9000世帯ぐらい対象世帯になろうかと思っております。

で、早い方でしたら、26日ぐらいから振り込みを開始いたしまして、申請いただいた全ての方が年内というのは、ちょっと手続の時間上難しいかもしれませんが、できる限りの件数をこなしまして、振り込みの手続を行っていきたいというふうに思っています。

23区内でも年内の給付開始の準備ができているのは5区だというふうに聞いております。

1日も早く支給ができるように、コールセンターの設置もいたしておりますので、お問い合わせをいただきながら、迅速な対応に努めてまいりたいと思っています。

また、こうした給付金をかたった詐欺も多く出ていると聞いておりますので、皆さんお気をつけいただきまして、北区からATMの操作をお願いすることや、電話で口座番号を伺うことは絶対にありませんので、ご自身のご自宅や職場などにも東京都や北区というような職員をかたったそういった問い合わせはありませんので、ぜひご注意くださいなと思います。

わからないことがあれば、コールセンターの方にお問い合わせをお願いしたいと思います。

そしてもう一つ、物価高騰の影響を受ける区民を支援していくということで、福祉施設、医療機関、また、浴場組合等、エネルギーコストの上昇、または、食材費の高騰の影響を大きく受ける施設への支援を行ってまいります。これも国の物価高騰の対応重点支援地方創生臨時交付金を活用しております。福祉施設、子供の施設、そういった施設を今、一覧に載せさせていただいておりますが、お示しのメニューで実施をしてまいります。こちらは来年1月から順次支給をしてまいりたいと思います。

こういったことで、物価高騰の影響を受ける世帯や企業に向けて、しっかりと区が応援をしていく体制を整えてまいりたいと思います。

そして、最後に、区民サービス NO.1 の行財政改革の一つといたしまして、来年1月4日に行われます。これは毎年行っております、新年賀詞交歓会。

これは北とぴあ さくらホールで毎年行っておりますが、区内でさまざま事業を受けていただいている町会・自治会、また、商店街、関係機関の方々にお集まりをいただき開催をするのですが、今回はオンライン配信を同時にさせていただくことで、多くの区民の方々にもご覧いただきたいなというふうに思っております。

会場での対面のみから、オンライン参加、ライブ・アーカイブとも可能にしていきたいというふうを考えております。

また、この会場にはですね、渋沢栄一翁カウントダウンプロジェクトのご紹介をしていくコーナーや、出張でおみやげ館の特設コーナーも作って、渋沢栄一の新一万円札発行カウントダウンプロジェクトを盛り上げていきたいというふうに思っております。

ぜひとも、お近くにお寄りの際には立ち寄りいただきたいなと思っております。1月4日です。

「みんなでつくる北区新時代」に向けて、これまで当たり前を徹底的に見直しまして、引き続き、区民サービス NO.1、情報公開などを行っていききたいと思っております。

以上でご説明とさせていただきます。よろしく願いいたします。

【司会】

ありがとうございました。それでは、これより質疑応答に移らせていただきます。

ご質問がありましたら、挙手の上、職員が持参しますマイクを使ってご発言ください。

【やまだ区長】

はい、どうぞ、お願いします。

【質問者 毎日新聞】

毎日新聞のナンモです。よろしくお願いします。

カウントダウンプロジェクトの区民 WEB 投票の件なんですけど、これ、応募、そもそも案を出せるのは区民と在勤、在学の方だったと思うのですが、WEB 投票も同じですか。それとも区民のみになるんでしょうか。

【やまだ区長】

担当課長の方からご説明させていただきます。

【しごと連携担当課長】

しごと連携担当課長です。区民、在勤の方の投票をお願いしておりますが、WEB 投票ですので、区民かどうかという確認まではなかなか、方法としてはあるんですけども、広くたくさんの方からご応募いただきたいということから、区民の方の投票ということで、呼びかけをいたしますが、対象としてはそういうことにしております。

が、他の区の方ができないわけではないんですけども、広くたくさんいただければ良いかなと思いついて、まずは我々も、色々、こういう経験がなかなかないものですから、試みとして、1 度こういう形でやってみようかなと思っています、以上です。

【質問者 毎日新聞】

すみません、ひらめきコースは 7 件ほどって、さっきお話があったので、それは票を取った数の多い順に決まっていくということですか。

【しごと連携担当課長】

はい。その通りでございます。おひらめきコースの方は賞品として、区内共通商品券をご用意しているんですけども、ベストアイデア賞ということで 3 万円分を 2 提案、グッドアイデア賞ということで 1 万円分を 5 提案、用意しておりますので、これは区民投票によって決まるという形を考えております、以上です。

【質問者 毎日新聞】

では事業提案は全部二次審査に進出するけれども、その持ちポイントが変わるとか、こういうことですか。

【しごと連携担当課長】

事業提案コースも、同時に区民の WEB 投票にかけさせていただきます。最終的にこちら最優秀賞 10 万円分 1 提案、優秀賞 5 万円分 2 提案、3 本用意してございますので、ちょっと何本進出させるかはちょっと状況を見ながらなんですけれども、最終的に二次審査プレゼンテーションを行うための区民投票という形を考えております。

【質問者 毎日新聞】

ありがとうございます。

【やまだ区長】

はい、お願いします。

【質問者 都政新報】

都政新報社のドイです。お願いします。事業提案で、区民からではなくて、職員からの事業提案もあったかと思うんですが、その応募数と、その数の受け止め、やまだ区長の受けとめてを伺えればと思います。

【やまだ区長】

はい。今回、WEBの方での区民WEB投票は、区民の方からの提案の内容になりまして、職員提案はこれとはまた別で既に終わらせていただいて、非常に多くの各部、それから個人ということで応募がありまして、積極的な参加を受けとめました。

特にですね、部ごとの提案が、やっぱり、みんなで考えて提案をしてくるという内容が本当にうれしいなというふうに思っています。

庁内全体でのこの機運醸成を努めていきたいなという風に思っています。

と共に、区民の方々、今回の方のWEB投票は、区民の方に応募いただいて、区民の方が決めていただくという、ダブルでやっていきたいというふうに思っています。

区民の方の、ひらめきコース 102 件も結構多い方だったんじゃないかなという風に思っていますので、さらに投票いただく件数をもっともっと、選んでいただく方々をさらに広げていきたいなというふうに思っています。

【質問者 都政新報】

すいません、区民のひらめきコースの件で 1 点。これは 102 件を全て WEB 投票？

【やまだ区長】

この中から、どれがいいよってということで投票いただきます。

【質問者 都政新報】

ありがとうございます。

【やまだ区長】

はい、お願いします。

【質問者 読売新聞】

読売新聞のナカムラと申します。よろしくをお願いします。

また事業提案のお話になるんですけども、ひらめきコース 102 件とありますが、この中身は何でしょう、同じものといえますか、ダブるというのはなかったんでしょうか。

【やまだ区長】

はいじゃあお願いします。

【しごと連携担当課長】

しごと連携担当課長の入江と申します。ダブリ等もございまして、それを精査した結果が 102 件ということになっております。

【質問者 読売新聞】

102 件というのかなり多いと思うんですけども、その中から区民というのは、どれか一つを選ばなければいけないのか。それとも、もう上限なく幾らでも選べるのかというのはいかがでしょう。

【やまだ区長】

一人一票ですね。

【質問者 読売新聞】

わかりました。ありがとうございます。

【司会】

他は、いかがでしょうか。

【やまだ区長】

結構あの大発会も、ご注目いただけたらなと思って。

全国に取り上げられると思うので、北区としてはこれだけ大きな取り組み、ちょっと初めてで今回、この大発会に提案をですね、東京商工会議所北支部、それから観光協会の皆さんと相談をしながら、協議会の中でぜひ提案をしていこうということで、営業に協議会として行かせていただいて、で交渉してですね、今回選定いただいたということで、ぜひ見て頂けたらなと思ってます。はい。

このしぐさわくん君が打ちます。ちょっと手が短いんですけど。

【やまだ区長】

おすすりは、この辺です。他、よろしいでしょうか。

【司会】

ありがとうございます。それでは以上をもちまして、本日の記者会見は終了させていただきます。ありがとうございました。

【やまだ区長】

今年も大変お世話になりました。ありがとうございました。よろしく申し上げます。